



水戸二中

題字：3年 高土春菜

発行 水戸二中PTA・編集 広報活動委員会・印刷 (株)東洋印刷



全校生徒 467名 男子 219名 女子 248名



目次

PTA活動報告・ 職場体験 P2~3
第63回秋季大運動会 P4~5
高校拝見・ アンケート「今どき中学生」	... P6~7
PTAレクリエーション・ 船中泊 P8

1学期のPTA活動

夏休み奉仕作業

八月二十日、先生・保護者・生徒の有志が集まって、奉仕作業の校内清掃を行いました。午前中の二時間という限られた時間の中で、数グループに分かれて花壇の草取り、校庭の側溝掃除、見送りパネルの修復、図書整理・管理等、日常の子どもの清掃だけでは行き届かない部分を重点的に行いました。男性保護者の参加も多く、力仕事だけでなく、手間のかかるサッカーゴールのペンキ塗り替えにも着手。当日は銷落としを行い、後日ペンキを塗り直して完成しました。授業や部活でも気持ちよく使えるようになりました。



↑サッカーゴールの銷落とし

↓掃き掃除

↑図書の整理

「奉仕作業」について

PTA会長 小野 広
日頃より会員の皆様にはPTA活動へのご協力をいただき、大変感謝申し上げます。
さて、本年度は新たな取り組みとして、夏休みにPTAの奉仕作業を実施いたしました。子ども達が新学期を迎える前に、そして恒例の大運動会がより良い環境の元で開催できれば、との思いから実施の運びとなりました。
初めての行事にも関わらず、多くの保護者や先生方、そして生徒達にも参加頂き、非常にうれしかった次第です。保護者と先生、そして生徒が互いに協力し合う活動を、今後も継続していきたいと思っております。皆様のご協力をよろしく願います。

文化教養委員会講演会

十月十八日、茨城大学 生涯学習教育センター准教授 長谷川幸介先生による「カチカチ時間とサラサラ時間」のかけがえのない自分を生きるをテーマにした講演会に四十人の保護者が参加しました。
「人間が幸せになる為に知識や技術を身につけるのが学力で、学力をつける場所が学校、社会力をも身につけるのが地域、自己肯定力（かけがえのない自分）をつ



先生 けるのが家
庭「それら
の鳥居」と
説明してくださいました。子ども達は社会化、文化化しながら三角形の鳥居を毎日くぐっている事や、子ども達が大人になっていく過程・道筋をユーモアを交えてお話して下さいました。

校内パトロール

健全育成委員会では、毎月のベルマーク収集の他に、各学期に一回、子どもが下校時に合わせて先生と一緒にパトロールをしており、二学期は十二月八日に実施しました。一学期に比べて日が短くなり、部活終了時間も早まる時期。下校途中で立ち止まって友達と話をしている生徒はいないか、通路として危険な場所はないか等に注意しながら巡回しました。



水戸駅から南口方面をパトロール

表彰

水戸二中のPTA活動が県PTA発展に寄与したという功績で、茨城県PTA連絡協議会から表彰されました。
今後も、会員皆様のご協力で、より積極的な活動を続けていきたいと思います。



表彰状を手にする小野 PTA 会長

第2学年

「職場体験学習」

子どもたちの体験感想

図書館体験
*カウンターの仕事の難しさは、自分が図書館利用者として行っている時には、分かりませんでした。体験させていただき、仕事の大変さ面白さがわかった気がします。

保育園体験
*小さな子どもと遊ぶのは大好きでしたが、仕事として体験してみると、楽しいだけではなく、色々な苦労があることを知りました。

おもちの消費は、一つ一つ丁寧に拭いていき、その間にも先生たちは休みなく仕事を続けました。自分ももっと頑張らなくてはと思いました。子どもたちと話しかけると、自分も自然に笑顔になります。保育士の仕事が見たいと思う気持ちが強くなりました。

言葉の話せない一歳児の世話
は、思ったより大変でしたが、やりがいを感じ、いつか保育士の仕事をやってみたいと思いました。

真剣に取り組み普段と違う視点で見ることができました。二中の生徒さんは品があるとパーとさんの感想がありました。職場体験での体験がプラスになると思います。

猛暑の中を二日間、屋外での体験が多かったにもかかわらず、時間を守り熱心に実施していただきました。

「足音を立てないで歩いてみよう」と言う声かけに対し意識して歩いていました。やればできましたね。皆さんの底力を見せられました。

どの職場でも、挨拶、はきはしした態度、やる気が大切です。見学ではなく体験なので、もっと元気に積極的に参加してほしかったです。

明るく積極的にかかわることができました。体力、根性は、どんな仕事でも必要

警察署体験
*指紋採取は、自分が思った以上に大変で、難しくたくさん苦勞があることを知りました。やり甲斐がある警察の仕事がしてみたいと思いました。

消防署体験
*普通救命講習は、自分が思っていたより難しく、普段テレビドラマで目にするのと体験してみると、色々と違い、色々な事に気をつけなくては人の命は助けられないことを実感しました。

サービス業体験
*店内の隅々まできれいにしてお客様の見えないところまで清潔にすることは、大変な苦勞があることがわかりました。

礼儀が大切だと言う事を体験を終えて感じました。マナーを守り取り組むことが必要であると気付きました。

サービスマン
*店内の隅々まできれいにしてお客様の見えないところまで清潔にすることは、大変な苦勞があることがわかりました。

大切なことは、この体験をどう生かしていくかだと思います。きつと役に立つことがあると思います。親が、どのような仕事をしていたか自分も負けないように勉強に運動に頑張ってください。

学校ではないので言葉遣いに気をつけましょう。中学生らしい取り組み方で好感が持てました。場に合った言葉遣いが学べるといいですね。

店舗に入る際とても元氣よく挨拶していました。勤労作業では、

普段客として見ていたのと、実際に店の側を体験してみると大きく違いました。

お客様に対していらっしゃっていただきたい感謝して接していただければならないことを実感しました。

受け入れ先の評価感想
大切なことは、この体験をどう生かしていくかだと思います。きつと役に立つことがあると思います。親が、どのような仕事をしていたか自分も負けないように勉強に運動に頑張ってください。



防火訓練の様子



授業の様子

まとめとして
一人一人が取り組む姿勢を、それぞれ職場で評価されているのがわかりました。一生懸命取り組むことが社会的にまだまだ未熟なところを自覚し、今回の体験を通して自主性主体性を育てていって欲しいと思います。

ご協力いただいた事業所

水戸市植物公園	水戸市立東部図書館
わかな保育園	ロジックデザイン
千波保育園	介護老人施設 はあもにか
杉山保育所	茨城県立歴史館
葉山保育園	水戸市消防本部 北消防署
白梅保育所	水戸警察署
聖光学園保育部	マクドナルド 大工町店
イオン下市店	米夢にぎりた亭
コヤマススポーツ	曼荼羅 水戸京成店
都炉美煎本舗	パンボドル
カスミ南町店	黄門そば
ミニストップ日赤前店	パティスリー-KOSAI
ジョイフル山新駅南店	KOSAI ロックシティー店
トツカフローリスト	KSPひたちなか
ペットショップ トモニー	総合検健診協会
棟 匠	水戸協同病院
オオタケ建設	水戸アニメーション
不二サッシ	京成ホテル
水戸市立中央図書館	ネットヨタ
水戸市立西部図書館	ルネサンス水戸
水戸市立内原図書館	

第63回 秋季大運動会

『Dreams Come True ~燃えろ 二中魂~』
平成23年9月3日(土)・9日(金)

学年主任のコメント

三年 郡司みどり
台風の影響で二日間にわたって
しまったが、中学校最後の運動会
への熱い思いは、私達に多くの感
動を与えてくれた。

二年 櫻井 誠
今年のムカデは横並び。全員
の息を合わせた〇人△脚。「せえ
の〜」学級の心が一つになった、
すばらしい瞬間だった。

一年 大和田直樹
各クラス一致団結して、全力
で競技する姿がすばらしかった。
逆転、逆転で最後まで緊張感が
あった。



3年生リレー



3年
個人走



男気
2年



二中ソーラン
全男



教職員リレー



Go Goサマーガールズ
2年



綱引



THE ムカデ
1年

結果

優勝

- 1年 2・5組
- 2年 4組
- 3年 4組



天まで届け
3年



二中タイフーン
2年



部活動行進



なでしこ
1年女



ヨッシャー!!



突然の雨で...



〇人△脚
2年

部など多数あります。県外から入部してくる生徒もいます。行事も多いです。毎年行われる水農祭、今年度は十一月十九・二十日です。生徒達が丹精込めて作った農産物や加工品、野菜・根菜、栗・梨・お米・パン・シクラメン、葉ボタン・アイスクリーム・鶏卵・燻鶏等々の盛り沢山の販売、部活動の成果発表などを行います。「水農ジャム」は、並んでくださいなね。

修学旅行は二年生の秋実です。行先は、その学年により自由です。ここ数年は沖縄、その前は北海道でした。現地到着後クラスで自由に行動するので、色々な場所に行くようです。球技クラスマッチ、駅伝クラスマッチもあります。

希望者対象の国際交流や北海道実習、長野実習もあります。ホームステイしながらタイ王国の高校で授業を受けたり、農業体験を行います。一・二年目は水農からタイへ、三年目はタイからの高校生



(左から) 藤枝先生、小磯先生

公立の高校としては、環境が充実しています。敷地は50ha、東京ドーム十個分、TDLと同じ位の広さです。県内で普通科の中にコース制として農業系がある高校は五校ですが、農業専門単独の高校は水戸農業高校と鉦田農業高校(三学科)の二校です。特に水農は学科が多くあらゆる農業の分野に対応できます。農業科、畜産科、園芸科、生活科学科、農業土木科、食品化学科、農業経済科の七学科、他に昼間の定時制農業科(四年間)もあります。二十種類近くの資格をとる事ができますし、大学進学も学科の専門性を生かして毎年農大に推薦入学者をだしています。水農は本人が望めば色々体験したり、資格取得できるチャンス

Q 水農ならではの特色を教えてください。

A 水農は一般家庭の生徒でも進学できます。農業高校というと、実家が農業という生徒が多いと思われがちですが、実際は二割位です。水戸・ひたな方面の生徒が多いので、農業と関係ないお家の生徒が殆どです。男女比は六対四です。水農で自分に合うものを見つけた生徒は一生懸命頑張っています。

部活動で活躍したい生徒、何にでも興味を持って探究心旺盛な生徒、将来農学部等の大学進学を希望する生徒、身体を動かしての作業が好きで生徒が集まっています。こちらでも求めています。

そして、自分が望みさえすれば、県立高校の中でも自分を生かすチャンスがたくさんある高校です。自分で目標を持った生徒は本当に伸びます。

一本田あらがががわいびい。今回は今までの訪問と違って、お話の前にまず、敷地内を案内していただきました。その様子も併せてお伝えしたいと思います。

Q 水農は一般家庭の生徒でも進学できますか。

A 農業高校というと、実家が農業という生徒が多いと思われがちですが、実際は二割位です。水戸・ひたな方面の生徒が多いので、農業と関係ないお家の生徒が殆どです。男女比は六対四です。水農で自分に合うものを見つけた生徒は一生懸命頑張っています。

Q 部活動や、行事などほどのようなものがありますか。

A 部活動も県内では水農にしかない馬術部、武双山、雅山を輩出した相撲部、ゴルフ部など特色のある部、農業研究を全国大会で発表する農業研究部や文化部、県、関東、全国レベルの運動

入口の本館校舎から一番奥にある畜産科まで一キロあります。真つづくに伸びた道路。その中央道路を挟んで左右に田んぼ、畑、ハウス、果樹園が見渡す限り広がり、境界線にはポプラ並木もあり、まさに北海道の広大なイメージです。途中生徒が丹精込めて作った梨をご馳走になりましたが、その甘い事水々しい事、とても美味しいです。畜産科には鶏牛豚馬、鳴き声が賑やかでした。飼育しているのも、先生方には土日は無いそうです。

まるで大学のキャンパスのようなゆつたりとした伸びやかな環境のなか、手入れの行き届いた広場。生徒がいなくても黙々と作業をしている先生方、ご案内してくださった先生のお話しぶり。そこから作物を丹精込めて育てる姿勢、生き生きとした様子、同時に生徒に対する優しい眼差しと誠実さが伝わってくる学校取材でした。



(左から) 小磯先生、中村教頭先生、藤枝先生

合宿みたいなものですが、集団生活を通して得るものも大きいと思います。

他に県外から数名、県内から二十数名寮生活を送っている生徒がいます。部活動の為の寮ではないので、土日は家に帰り月曜には帰寮します。農業科、畜産科、園芸科の一年生は一定期間入寮します。

Q 部活動や、行事などほどのようなものがありますか。

A 部活動も県内では水農にしかない馬術部、武双山、雅山を輩出した相撲部、ゴルフ部など特色のある部、農業研究を全国大会で発表する農業研究部や文化部、県、関東、全国レベルの運動

茨城県立水戸農業高校HP... <http://www.suino.ac.jp>

シリーズ 高校拜見 No.8

創立より百余年を経る歴史と、全国でも一二を誇る敷地面積を持つ、県立水戸農業高等学校を訪問しました。



食品化学科実習風景

水戸農業高校には二中から今年度四名が進学し、現在二十三名が在籍しています。夏の暑さも一段落した十月上旬に、中村彰男教頭先生、教務主任の小磯和則先生、農場長の藤枝操先生が応対して下さいました。

Q 水戸農業高校の教育理念、方針を教えてください。

A 体験を通して「生きる力」を育む事が一番大事だと考えております。普通科でしたら、勉強やテストを頑張る、高得点を取る事が一般的な目標となります。そこで誰の為に頑張るのかと考えると家族や先生の為でもありますが、最終的には自分の為であると思います。農業高校では例えば、さつまいもを作るとい体験をします。それを皆に食べてもらいます。そこでおいしかったら何人の人達に喜んでもらえるでしょう。人に喜んでもらうという体験を通して、人の為に生きている喜び「生きる力」を育んでいると考えます。



Q 部活動や、行事などほどのようなものがありますか。

A 部活動も県内では水農にしかない馬術部、武双山、雅山を輩出した相撲部、ゴルフ部など特色のある部、農業研究を全国大会で発表する農業研究部や文化部、県、関東、全国レベルの運動

公立の高校としては、環境が充実しています。敷地は50ha、東京ドーム十個分、TDLと同じ位の広さです。県内で普通科の中にコース制として農業系がある高校は五校ですが、農業専門単独の高校は水戸農業高校と鉦田農業高校(三学科)の二校です。特に水農は学科が多くあらゆる農業の分野に対応できます。農業科、畜産科、園芸科、生活科学科、農業土木科、食品化学科、農業経済科の七学科、他に昼間の定時制農業科(四年間)もあります。二十種類近くの資格をとる事ができますし、大学進学も学科の専門性を生かして毎年農大に推薦入学者をだしています。水農は本人が望めば色々体験したり、資格取得できるチャンス

Q 水農ならではの特色を教えてください。

A 水農は一般家庭の生徒でも進学できます。農業高校というと、実家が農業という生徒が多いと思われがちですが、実際は二割位です。水戸・ひたな方面の生徒が多いので、農業と関係ないお家の生徒が殆どです。男女比は六対四です。水農で自分に合うものを見つけた生徒は一生懸命頑張っています。

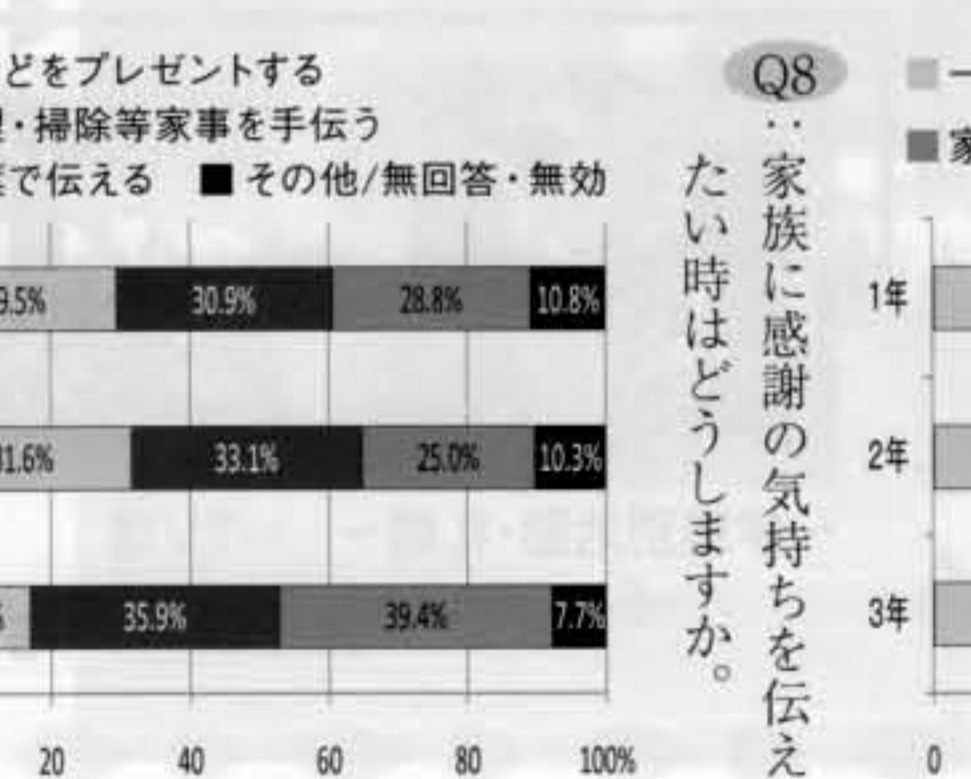
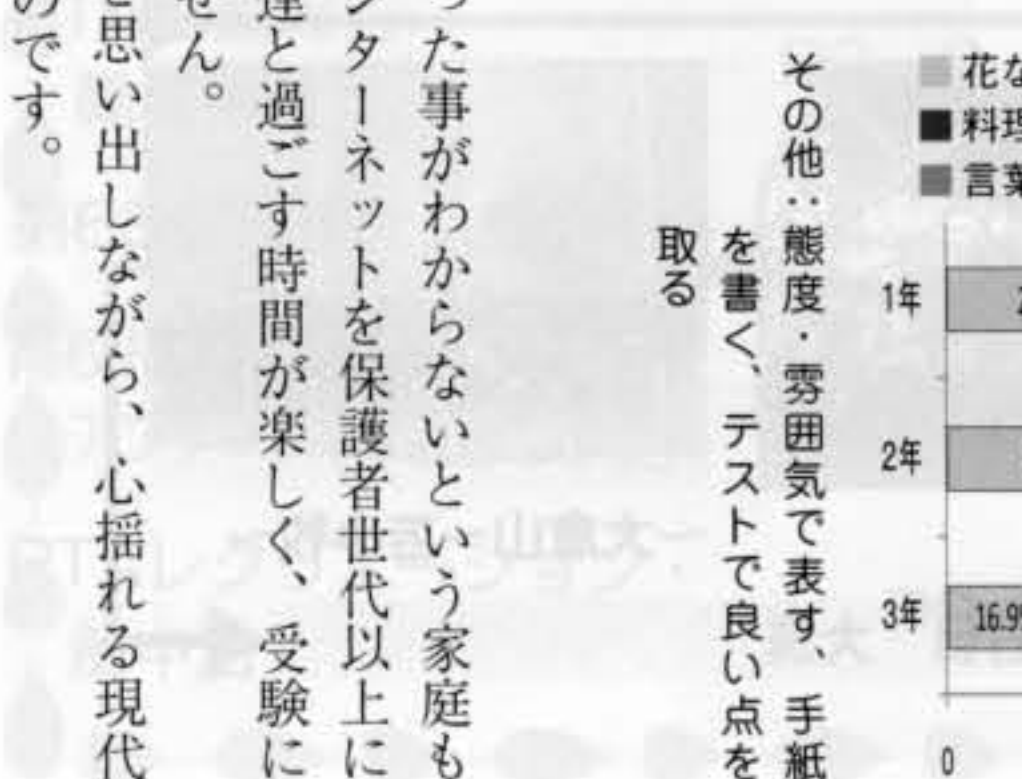
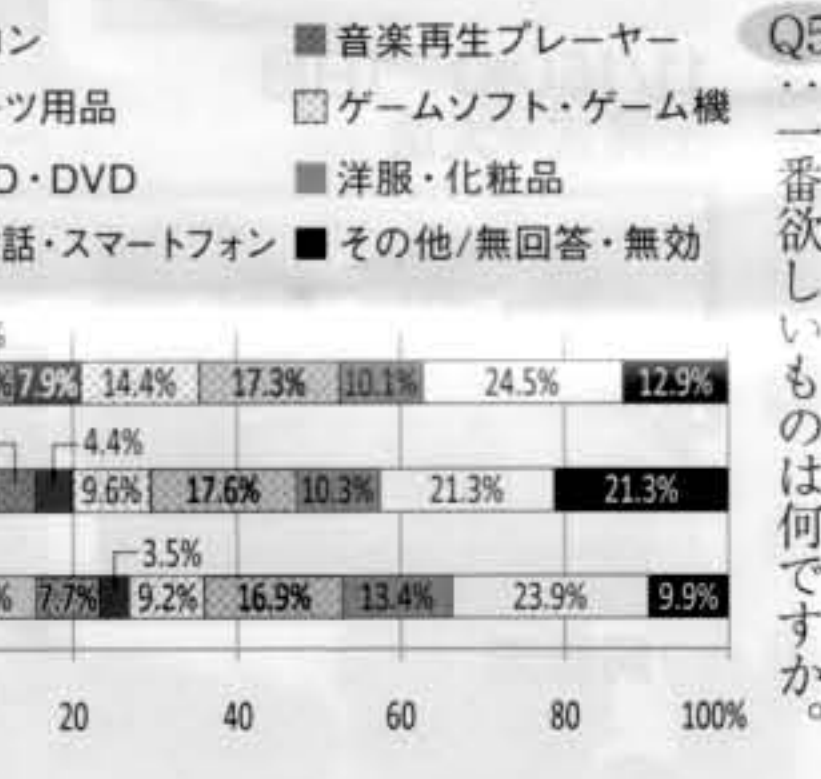
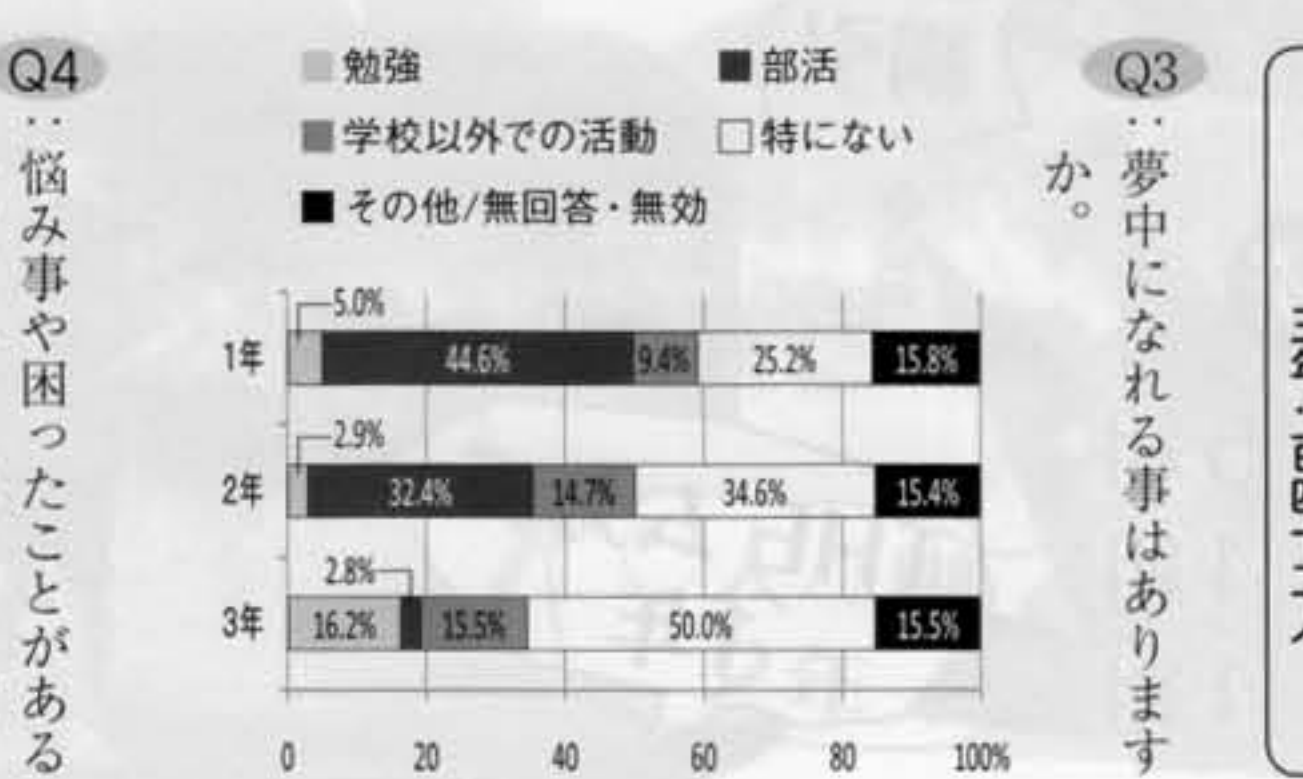
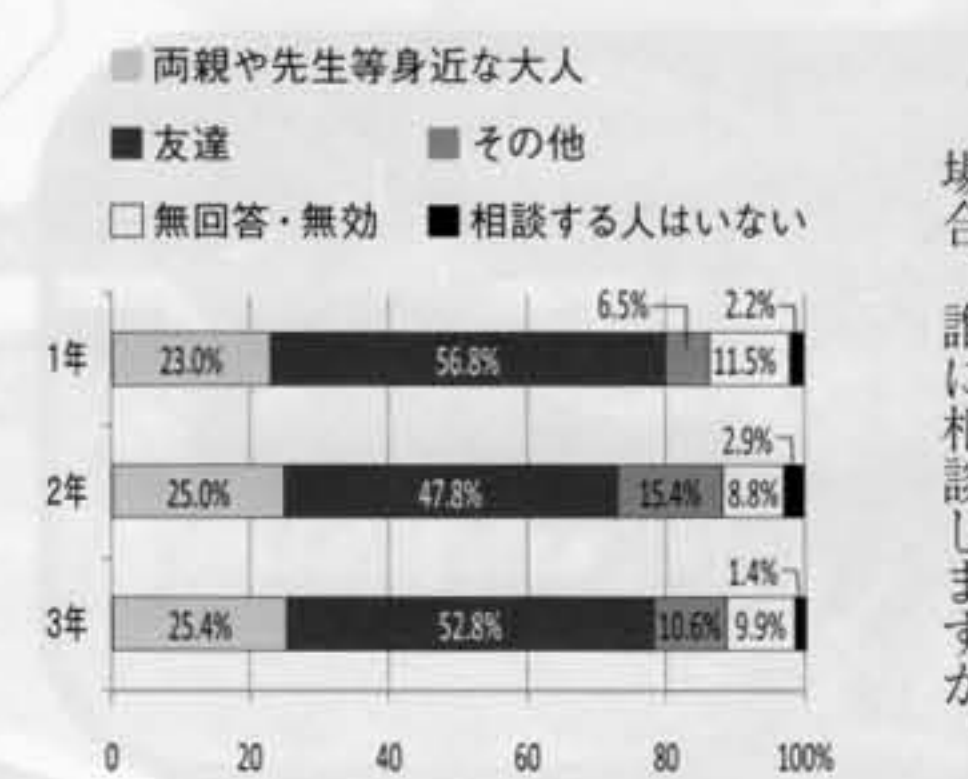
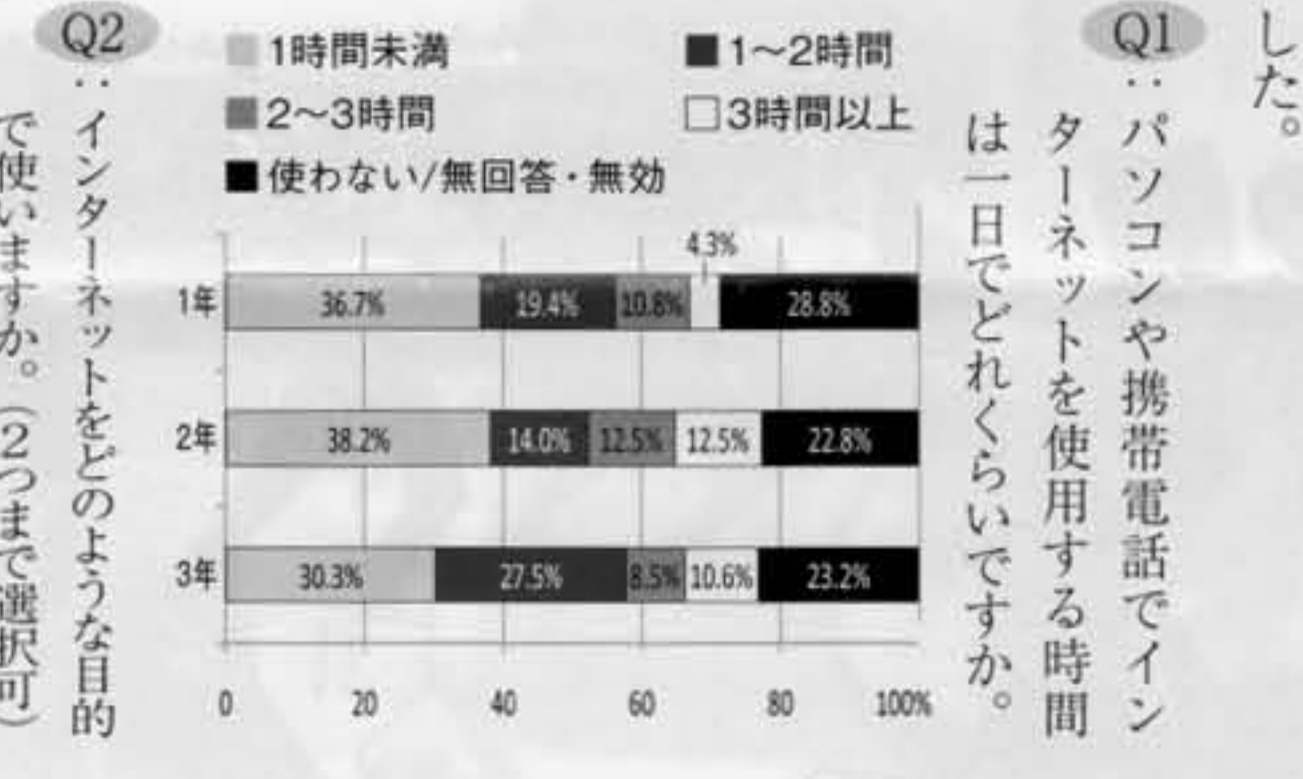
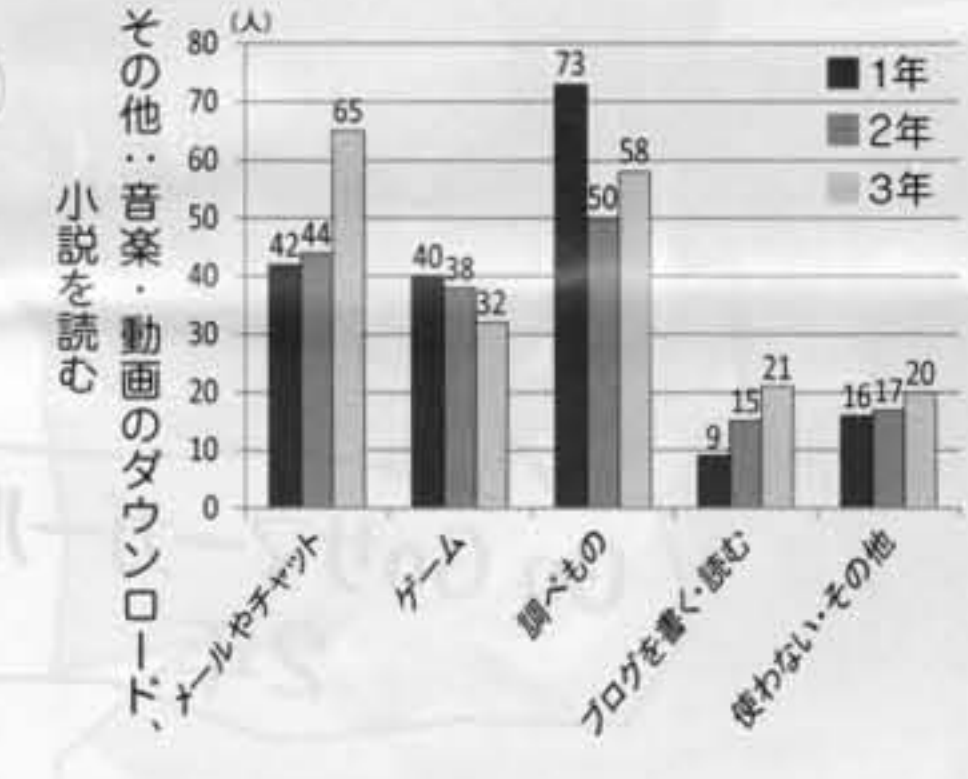
Q 部活動や、行事などほどのようなものがありますか。

A 部活動も県内では水農にしかない馬術部、武双山、雅山を輩出した相撲部、ゴルフ部など特色のある部、農業研究を全国大会で発表する農業研究部や文化部、県、関東、全国レベルの運動

子ども達が日頃思っている事、考えている事を、簡単なアンケートで答えてもらいました。

調査期間：十一月九日～十五日
 回答数：一年：百三十九人
 二年：百三十六人
 三年：百四十二人

アンケート 中学生



PTAレクリエーション開催 11月5日(土)



昨年までは研修旅行でしたが、より身近な場所・活動で PTA の親睦を深めるべく、ソフトボール大会を計画し、教職員24名、保護者29名が参加しました。

教職員、保護者、混合の3チームに分かれ、総当たり戦で試合を行いました。日頃から中学生相手に運動をし、体力があり、若い先生も参加した教職員チームのパワーは強力で、保護者チームも追い上げましたが、得失点差で教職員チームの優勝となりました。

夕方からの親睦会にも30名余りが参加し、子どもの事、気になる勉強の事、昔の話などで和やかな会となりました。



初めての PTA レクリエーションでしたが、どの試合も盛り上がり、日頃見る事のできない先生方の意外な一面を知ることができた楽しいひとときでした。

今後も継続して、先生方との親睦を図りたいと考えています。皆様の参加をお待ちしております。

企画・運営担当
第二学年委員長 森 晴彦



船中泊を伴う自然教室

平成23年11月16日(水)～20日(日)

～大海原を友と越え、北の大地で深める絆 Learn from Nature～



11/16(水) 1日目
出発式～大洗



～苫小牧



11/17(木) 2日目
～ポロコタン ネイバル洞窟(泊)～



11/18(金) 3日目
火山科学館・西山 火口



洞爺湖



～白い恋人パーク・札幌～



ホテルミリオーネ(泊)～



11/19(土) 4日目
班別行動・小樽～



～学級別活動・札幌～



～TV塔



～大倉山～苫小牧～

11/20(日) 5日目 大洗

編集後記

広報誌はPTA活動や子どもたちの情報を取り上げ広く伝える事です。運動会、遠足など子どもたちの姿を伝える事も大切ですが、子どもたちの抱えている問題などにも目を向けた誌面づくりをしていきたいです。